栄養たくさん!! りんご新聞

編集者 野土谷音糸君

発行日 R5年 12月30日

りんごについて

りんごは、人類が食した最古の果物で、起源は約八〇〇〇年前とされています。日本では、明治時代からさいばいが始まりました。栄養価が高く、食べやすいため、世界中から好まれています。低カロリーで腹もちが良いのもみ力です。

様々なりんごの種類

つがる

夏の終わりが旬
ジューシーで優しい甘さがみ力

【早生種 8月中旬~10月】

1975(昭和50年)
品種登録

ジョナゴールド

甘酸っぱさがみ力
スムージーのアクセントにも◎

【中生種 10月~】

1970(昭和45年)
秋田県果樹試験場に導入したのが始まり

ふじ

丁ねいなさいばいと貯蔵で夏まで楽しめる「ふじ」

【晩生種】

誕生から22年後の1962(昭和37年)
品種登録

サンふじ

甘さ、酸味、食感全てがそろった不動のNO.1

【晩生種 11月~】

ふじと同じで
1962(昭和37年)
品種登録

王林

香り高き
黄色系リンゴの代表格

【晩生種 10月下旬~】

1952(昭和27年)
命名

シナノゴールド

長野県生まれ
パリッと触感でジューシー

【晩生種 10月下旬~】

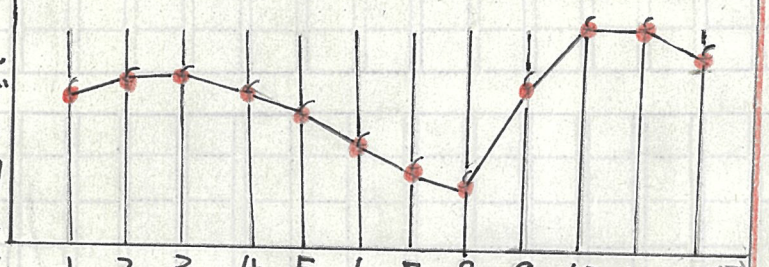
1999(平成11年)
品種登録

世界一

存在感のある大きさは世界一!! 1kgをこえるものまで!

【中生種 10月中旬~】

1974(昭和49年)
学会発表



りんごの旬





りんごの収かく時期は八月~十月がメイン。

月~二月頃の秋から冬にかけた季節です。10月は、収かく量が最も多くとれたての新せんなりんごが味わえます。一番おいしい季節は、秋です。

月による出荷ランキング

今回は、十二ヶ月の中から、十一月、十二月、一月、二月をしょうかいし、ていきます。

11月	1	青森県	2	岩手県	3	長野県
12月	1	青森県	2	岩手県	3	長野県
1月	1	青森県	2	岩手県	3	長野県
2月	1	青森県	2	岩手県	3	長野県

④ 福島県 ⑤ 山形県

りんごの栄養

今回は、りんごの栄養について、説明します。

りんごには、整腸作用、コレステロールの吸収よく制効果が期待できます。抗酸化作用やしぼう低減作用、老化防止効果の期待できるポリフェノールも豊富です。⑤「えいようたくさん!!」

りんごには、ペクチンには、豊富な水容性食物せんいのペクチンには、豊富な水容性食物せんいのペクチンには、豊富な水容性食物せんいの